

戸山

新宿区立戸山小学校

チャレンジ

校長 百合野 壽郎

10月22日、最高(?)の天気のもと、『秋の戸山オリンピック』が行われました。春の「運動会」とは、種目を変えて、団体競技や異学年で協力して取り組むものです。

コロナ禍、学校教育は、色々なことを変えざるをえないことが、たくさんありました。運動会もその一つ、コロナ前は、朝から昼過ぎまで、それこそ時間に追われながら行われていました。子ども達の熱中症をはじめとする体調管理はもちろん、先生方の事前の指導や準備は、並々ならぬエネルギーを使うものでした。しかしながら、それはそれで、運動会を終えると、子ども達も先生方も(やった～。みんながんばったね!)と達成感や満足感を感じることができ、教育的な意義は十分にありました。

しかしながら、教育界を取り巻く社会状況はこの3年で劇的に変わっています。運動会も、従来のやり方にこだわらず、今回のように2回に分けて行うのも、子ども達の発達段階や先生方の準備時間等も考慮して、こういうやり方もあってよいのではないかという考えのもと、取り組んでみました。おそらく春秋2回に分けての体育的行事に取り組んでいる学校は、日本でもそう多くはないでしょう。まさにチャレンジでした。

低学年から高学年まで、一致団結して取り組む行事は本当に久しぶりです。子供たちも思わず「〇〇さん、頑張れー!」「ちくしょう。もう少しだったのに!」と感情を発散させる様子を見て、見ている私もワクワクするような『秋の戸山オリンピック』でした。競技をやり終えた後の子ども達の笑顔が皆素敵で、自然と拍手してしまうような素晴らしい取り組みであったと、自負しております。さて、保護者の皆様にはどのようにお写りになったのでしょうか。おそらく、昔の方が良かったとお思いの方も多々いらっしゃると思います。しかしながら、コロナは我々に変わる事の必要性、チャレンジすることの大切さを、教えてくれました。

もちろん戸山小の長い伝統の中で、引き継がれてきたものを、次の世代に引き継いでいく事も大切です。一方、コロナが終わっても、20年後・30年後の郷土を背負う子ども達に必要な力を身に付けられるように、これからも様々な改革・取り組みにチャレンジしていくことの必要性も感じています。常に子ども達に寄り添いながら、一人一人の子ども達にとって最高の教育ができるように、既成の方法にしがみ付くのではなく、今できることに対して、柔軟に対応して取り組んでいく姿勢は、これからも変わらないでしょう。本校の研究課題や「新しい学校の生活様式」「新学習指導要領」をもとに、失敗を恐れず、できることはやってみる。変えられることは変えてみる。まさに多面的多角的取り組み、子ども達がチャレンジ精神を持って取り組む主体的な思考を持った学びを戸山小学校は、進めていきます。保護者・地域の皆様の変わらぬご理解・ご支援の程よろしくお願いたします。

学校公開について

教務主任

10月21日(金)、22日(土)に学校公開を行いました。多くの方々にご来校いただき、ありがとうございました。21日(金)には人数制限はあるものの、1校時から5校時までご都合のよろしい時間に授業をご覧いただくことができました。子ども達も久しぶりの学校公開による緊張感の中、前向きに授業に取り組みました。5校時の道徳授業地区公開講座では、全学年道徳の授業を公開し、それぞれの価値項目について考えを深めた時間となりました。22日(土)には、春の運動会に続き、団体競技を中心とした「戸山オリンピック」を開催することができました。開催に向け学年合同で練習に励み、当日はどの学年も楽しみながら白熱した競技を行うことができました。子ども達への温かいご声援ありがとうございました。

アンケートへのご協力もありがとうございました。いただいたご意見・ご感想を全教職員で共有し、今後の教育活動へ活かして参ります。

学年の窓 3年

3年担任

3年生になり、学習内容が増えました。書写(毛筆)の学習では、墨液を付けて半紙に自分の名前や好きなものを書かせてみると「絵具みたい。」「真っ黒だ。」と目を輝かせながら、夢中で取り組んでいました。

そして先日、子ども達は「小」の文字を書きました。めあてを確認し、「点」と「はね」に気を付けながら学習に取り組みました。

子供たちは日々、新たなことを吸収し、成長しています。保護者の皆様にも、その成長した姿をごらんいただけることを願って、これからも指導していきます。

